



平成二三年度 秋田県消防功労者表彰式

平成二三年度秋田県消防功労者表彰式が、三月二二日(木)秋田市の秋田県庁第二庁舎八階大会議室で、受章者など約二二〇人が出席し、開催された。

式典では、消防庁長官表彰や消防庁消防団協力事業所表示証、日本消防協会定例表彰などの伝達が行われたほか、昨年七月三十一日、秋田市の旧浜田浜海水浴場で発生した水難事故で、三人の子どもを救助、救命した盛岡市の鈴木敬様と秋田市の佐藤真澄様に対し、秋田県知事表彰状が授与された。



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

式 辞 (要約)

秋田県副知事 堀井 啓一

本日は、永年にわたり職務に精励された消防職員、消防団員の方々、救助活動により水難事故から幼い命を守られた方々、年間無火災を達成された藤里町並びに消防団協力事業所に対し、表彰状や表示証の伝達等を行うこととしています。

皆様には、この度の栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

県では、東日本大震災のような大災害は、今後も起こりうるものと思定し、「秋田県地域防災計画」の全面的な見直しに取り組んでいます。様々な災害に住民・地域・行政が

平成二十四年度全国統一防火標語
消すまでは
出ない行かない
離れない

一体となって迅速に対応できるよう防災・危機管理体制の充実に努めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

挨拶 (要約)

秋田県消防協会長 中泉松之助

栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

昨年三月一日に発生した東日本大震災は、私たちに、人と人との繋がりが地域コミュニティの大切さを、また、地域防災において、最前線にいたるの消防団であることを改めて強く認識させました。

火災は今もなお後を絶たず、地震や津波、集中豪雨、豪雪などの自然災害の脅威も依然として続いており、県民の防災に対する関心・期待はますます高まってきております。私たち消防人は、県民の安全・安心の確保という強い願いに応えるため、より強靱な組織を構築してあらゆる災害に全力で立ち向かって行かなければなりません。

本日、表彰されました皆様には、地域防災のリーダーとしてなお一層のご活躍、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。

平成二四年度 秋田県山火事予防運動

この運動は、山火事が多発する春季において、県民一人一人に山火事予防思想の普及を図り、森林資源と自然環境の保全に努めることを目的に実施するものです。

■統一標語

忘れない 山への感謝と火の始末

■実施期間

平成二四年四月一日(日)～五月三十一日(木)までの二ヶ月間

■重点推進事項

- ① 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
- ② たき火の場所を離れるときは完全に消火すること。
- ③ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
- ④ 火入れの際、必ず市町村長の許可を受けること。
- ⑤ たばこの吸いながらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
- ⑥ 火遊びはしないこと。



消防庁長官表彰 日本消防協会表彰

平成二三年度秋田県消防功労者表彰式に先立ち、平成二三年度消防功労者消防庁長官表彰は三月八日(木)、第六四回日本消防協会定例表彰式は二月二三日(木)、ともに東京都港区虎ノ門の「ニッショーホール」で開催され、次の方が出席された。

■消防庁長官表彰

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

消防正監 伊藤和美

秋田市消防本部

消防監 海野達雄

秋田市消防本部

消防監 小林博美

大仙市消防団

副団長 佐藤昇

秋田市消防団

副団長 池田吉正

北秋田市消防団

副団長 太田兵一

仙北市消防団

分団長 今野竹四郎

男鹿市消防団

分団長 鈴木敏信

大館市消防団

分団長 藤原良一

■日本消防協会表彰

羽後町消防団

団長 佐藤金一



▲消防長官表彰



日本消防協会表彰▶



秋田県消防功労者表彰式

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (4名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防正監	伊藤和美	秋田市消防本部	消防監	海野達雄
秋田市消防本部	消防監	小林博美	大仙市消防団	副団長	佐藤昇

◆永年勤続功労章 (75名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	岩城朝夫	秋田市消防本部	消防司令長	工藤春一
由利本荘市消防本部	消防司令長	佐々木俊一	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	佐藤辰夫
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	佐藤友規	鹿角広域行政組合消防本部	消防司令長	沢田正彦
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	信太民久	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	嶋津昌彦
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	高橋和夫	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	武田悟
大館市消防本部	消防司令長	畠山亮一	由利本荘市消防本部	消防司令長	畑澤農富和
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	山崎久男	秋田市消防本部	消防司令長	吉成勉
北秋田市消防本部	消防司令	大沢秀高	由利本荘市消防本部	消防司令	佐藤善造
湖東地区行政一部事務組合消防本部	消防司令	佐藤正	鹿角広域行政組合消防本部	消防司令	佐藤均
にかほ市消防本部	消防司令	柳橋稔	大館市消防本部	消防司令補	佐々木廣成
井川町消防団	団長	遠間富和	三種町消防団	副団長	青山竹千代
八峰町消防団	副団長	阿部富廣	秋田市消防団	副団長	池田吉正
由利本荘市消防団	副団長	石綿喜代隆	北秋田市消防団	副団長	太田兵一
横手市平鹿消防団	副団長	柿崎賢司	由利本荘市消防団	副団長	金子嘉博
鹿角市消防団	副団長	児玉誠喜	大仙市消防団	副団長	小柳伸一
由利本荘市消防団	副団長	今野文夫	にかほ市消防団	副団長	佐々木伸一
藤里町消防団	副団長	佐々木忠久	大仙市消防団	副団長	佐藤文一
秋田市消防団	副団長	鈴木正	潟上市消防団	副団長	高橋寛
美郷町消防団	副団長	高橋正尚	秋田市消防団	副団長	備後孫

鹿角市消防団	副 団 長	割 石 博 之	能代市消防団	分 団 長	安 保 治 夫
秋田市消防団	分 団 長	石 井 昇	大館市消防団	分 団 長	石 川 久 晴
五城目町消防団	分 団 長	伊 藤 辰 雄	美郷町消防団	分 団 長	稲 川 高 志
男鹿市消防団	分 団 長	太 田 昭 夫	能代市消防団	分 団 長	大 塚 義 明
仙北市消防団	分 団 長	大 友 勲 夫	横手市十文字消防団	分 団 長	加 納 一 男
八郎瀧町消防団	分 団 長	北 嶋 透志雄	大館市消防団	分 団 長	北 林 茂 政
秋田市消防団	分 団 長	熊 谷 金 栄	大仙市消防団	分 団 長	黒 川 耕 作
湯沢市消防団	分 団 長	軍 司 信 幸	仙北市消防団	分 団 長	今 野 竹 四 郎
大仙市消防団	分 団 長	斉 藤 始	横手市山内消防団	分 団 長	佐々木 雄一郎
大仙市消防団	分 団 長	佐 藤 幸 治	大仙市消防団	分 団 長	菅 原 俊 一
男鹿市消防団	分 団 長	鈴 木 敏 信	潟上市消防団	分 団 長	薄 田 芳 則
仙北市消防団	分 団 長	高 貝 寿 孝	横手市大森消防団	分 団 長	高 橋 亮 介
大仙市消防団	分 団 長	富 岡 喜 栄	大仙市消防団	分 団 長	西 嶋 次 男
横手市雄物川消防団	分 団 長	長谷川 喜 一	大館市消防団	分 団 長	藤 原 良 一
秋田市消防団	分 団 長	船 木 功	北秋田市消防団	分 団 長	松 浦 登
能代市消防団	分 団 長	丸 谷 明 雄	横手市十文字消防団	分 団 長	三 浦 由 一
大館市消防団	分 団 長	三 政 薫	能代市消防団	分 団 長	茂 呂 信 博
大仙市消防団	分 団 長	山 影 栄 昇	羽後町消防団	分 団 長	和 泉 嘉 郎
男鹿市消防団	副 分 団 長	進 藤 清 悦			

消防庁表示証・消防庁長官感謝状

◆消防団協力事業所表示証 (18事業所)

秋田市	山岡工業 株式会社	秋田市	株式会社 岡部建設工業	大館市	佐藤建設 株式会社
大館市	白川建設 株式会社	大館市	株式会社 大森土木	大館市	あきた北農業協同組合
男鹿市	株式会社 寒風	男鹿市	協進興業 株式会社	男鹿市	株式会社 加藤組
湯沢市	株式会社 田村組	湯沢市	株式会社 辨天技建	湯沢市	株式会社 皆瀬土木
湯沢市	岩野設備工業 株式会社	鹿角市	かづの農業協同組合	鹿角市	株式会社 柳沢建設
鹿角市	株式会社 新東組	鹿角市	ハタリキ 株式会社	小坂町	小坂製錬 株式会社

◆消防団車両等支援感謝状 (2市) 秋 田 市 由利本荘市

秋 田 県 知 事 表 彰

◆消防・水防活動協力者表彰 (2名)

岩手県盛岡市	鈴木 敬	秋田県秋田市	佐藤 真澄
--------	------	--------	-------

◆無火災表彰 (1町) 藤 里 町

日 本 消 防 協 会 表 彰

◆表 彰 旗 (1 団) 羽後町消防団

◆竿 頭 綬 (3 団) 北秋田市消防団 藤里町消防団 由利本荘市消防団

◆功 績 章 (19名)

小坂町消防団	分 団 長	澤 口 紀 夫	上小阿仁村消防団	団 長	北 林 義 高
大館市消防本部	消 防 監	石 井 直 文	能代市消防団	副 団 長	土 田 一 男
三種町消防団	副 団 長	石 井 均	男鹿市消防団	団 長	佐々木 善 廣
大潟村消防団	団 長	高 橋 重 男	秋田市消防団	分 団 長	武 藤 一 夫
秋田市消防団	分 団 長	齋 藤 義 人	にかほ市消防団	副 団 長	佐 藤 保 之
由利本荘市消防団	副 団 長	金 子 嘉 博	美郷町消防団	副 団 長	五十嵐 養 藏
大仙市消防団	副 団 長	鳥 羽 武 治	大仙市消防団	副 団 長	伊 藤 作 十 郎

横手市横手消防団	副 団 長	加 藤 一 男	横手市十文字消防団	副 団 長	近 洋
横手市大雄消防団	副 団 長	高 橋 良 則	湯沢市消防団	分 団 長	佐々木 長 一
湯沢市消防団	副 分 団 長	藤 岡 俊 一			

◆精 績 章 (46名)

鹿角市消防団	副 団 長	児 玉 誠 喜	鹿角市消防団	分 団 長	佐 藤 国 男
小坂町消防団	分 団 長	大 内 正 富	北秋田市消防団	団 長	北 林 男 榮 一
北秋田市消防団	副 団 長	太 田 兵 一	大館市消防本部	消防司令長	北 畠 山 亮 一
大館市消防本部	消 防 司 令	長谷部 芳 孝	北秋田市消防本部	消 防 司 令	長 岐 順 一 博
能代市消防団	分 団 長	佐 藤 真 一	能代市消防団	分 団 長	茂 呂 信 忠
三種町消防団	分 団 長	工 藤 金 晴	藤里町消防団	副 団 長	佐々木 忠 久
男鹿市消防団	分 団 長	菅 原 健 策	潟上市消防団	分 団 長	佐 藤 進 稔
八郎潟町消防団	分 団 長	渡 部 壽 一	大潟村消防団	分 団 長	松 橋 康 博
秋田市消防本部	消 防 司 令	石 川 昌 彦	秋田市消防本部	消 防 司 令	前 田 定 和
秋田市消防団	分 団 長	湯 澤 誠 一	秋田市消防団	分 団 長	横 田 充 夫
秋田市消防団	分 団 長	斎 藤 正 俊	由利本荘市消防団	副 団 長	坂 田 寿 夫
由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 純 一	由利本荘市消防団	分 団 長	阿 部 義 一
由利本荘市消防団	分 団 長	佐々木 良 一	由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 義 昌
にかほ市消防団	分 団 長	須 藤 淳 一	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	嶋 津 昌 彦
仙北市消防団	副 団 長	佐々木 久 悦	大仙市消防団	副 団 長	齊 藤 博 芳
美郷町消防団	分 団 長	照 井 修 二	大仙市消防団	副 団 長	煤 賀 隆 芳
大仙市消防団	分 団 長	児 玉 辰 義	横手市消防本部	消 防 司 令	黒 澤 雅 博
横手市消防本部	消 防 司 令	藤 原 正 美	横手市消防本部	消 防 司 令	森 屋 慶 基
横手市大森消防団	分 団 長	高 橋 亮 介	横手市山内消防団	分 団 長	佐々木 雄 一 郎
横手市平鹿消防団	分 団 長	国 安 孝 夫	横手市平鹿消防団	分 団 長	福 岡 馨
羽後町消防団	分 団 長	和 泉 嘉 郎	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	伊 藤 知 也
湯沢市消防団	副 分 団 長	佐 藤 肇	湯沢市消防団	分 団 長	菅 義 照
東成瀬村消防団	分 団 長	平 良 肇	湯沢市消防団	分 団 長	加 藤 久 男

男性消防団員の部	研 修 名	女性消防団員の部
平成24年2月7日(火)～9日(木)	開催月日	平成24年2月13日(月)～15日(水)
140名 (うち秋田県から3名)	参加者数	92名 (うち秋田県から5名)
講話 消防団運営 課題討議 (発表と講評を含む。) ・若年層の団員確保対策 ・サラリーマン化が進む中での効果的な活動方策 ・消防団の訓練の在り方 ・消防団活動の問題点と解決策 (大規模災害時の対応) 防災対策 ・消防庁危機管理センター視察 危機管理 災害情報 活動事例 (東日本大震災)	研修科目	講話 消防団実務 課題討議 (発表と講評を含む。) ・女性消防団員の役割 ・女性消防団員の確保対策 ・女性消防団員による新たな消防団活動の展開 視察研修 ・東京消防庁防災教育センター 課題討議 消防団運営 予防対策 話し方講座
	研修状況	

第一一回消防団幹部候補中央特別研修が日本消防会館で、研修科目等により全国から二二三二名が参加し、開催されました。本県から参加した八名の団員から報告がありましたので、その概要を紹介いたします。

消防団幹部候補中央特別研修に参加して

■男性消防団員の部



鹿角市消防団
団員
佐藤 智紀

研修では、昨年三月一日に発生した東日本大震災を踏まえ、震災に関連した内容が多くなっており、岩手県大槌町の消防団員の活動事例発表では、「一人でも多くの住民を救うためにも、消防団員は死んではいけない」という言葉が印象的でした。

今、消防団に対して求められる任務は火事への対応だけでなく避難誘導や救命活動など幅広くなっています。そのような中、自分たちの消防団ではどのような活動を目指していくのか、そしてそれに対して、どのような訓練を実施し装備を拡充していくのか、そのことについて地域で考えていくことの重要性を改めて感じさせられました。

日本全国の仲間との情報交換も貴重な経験でした。「日本各地で消防団に汗を流す仲間がこんなにいるんだ。よし、自分も頑張ろう」と感じられたことも大きな財産となりました。



秋田市消防団
団員
京極 順哉

私は消防団に入団して五年と日が浅く、訓練やポンプ操作の練習など

にもほとんど参加することができずにはしたので、今回の研修の参加には少し不安がありました。

実際に研修の課題討議が始まり、若年層の団員確保について意見交換を重ねました。私はその中でも、地域行事などに参加するという地域に根ざした活動こそが、今後の団員確保へと繋がるのではないかと考えました。

今回の研修は、昨年発生した東日本大震災のような大規模災害時の対応などの講義もあり、また、被災地の消防団員の体験談も聞くこともでき、改めて消防活動の大切さを痛感しました。



横手市山内消防団
分団長
藤原 卓

この研修では、様々なテーマに応じた講義が行われましたが、グループごとに行われた課題討議が一番大変でした。

私が所属する第六班のテーマは、「消防団活動の問題点と解決策(大規模災害時の対応)」でした。

時間が圧倒的に足りず、まったくの初対面の者同士が夜中まで熱い討議を繰り広げました。

グループには、福島県いわき市消防団や宮城県仙台市消防団の方がおり、色々な体験談を聞く事ができ、有意義なものとなりました。

私の消防団人生の中で、こんなに様々な地域の、様々な考えを持った消防団員の方々と真剣に、そして仲良く話をする機会はまず無いだろうと思います。今回この研修で学んだ事や出会いは私にとってかけがえの無いものとなりました。

日頃から消防団の大切さは感じていたのですが、今後益々、消防団活動を大切にしていかなければと思えました。

■女性消防団員の部



秋田市消防団
団員
若松 香

今回の研修ですが、正直不安な気持ちでいっぱいでした。しかし会場について途端、他の女性団員の方々のパワーとフレンドリーさでそんな心配も吹き飛び、大変有意義で楽しく刺激的な三日間となりました。

全国から集まった女性団員と討議を重ね、また各分野の講師による講義のうち、特に話し方講座での「言葉での傷は一生癒えない。言葉の重みを考えてほしい」との教えは、大変心に残りました。

女性特有の細やかな気配りも大事ではありますが、まず消防団員であることを念頭におき「自分がやりたいと思うことはきっと出来る」それを実現させることが自分の力である

と信じて、これからも前向きに活動していきたいです。



にかほ市消防団
団員
今野 裕子

今回の研修は、講話・講義共に消防活動のみならず、普段の生活にも適応できるような大変興味深い内容で、本当に参加して良かったと思っています。

特に、『予防』の長谷川祐子さんの講義は、二年前、秋田県女性消防団ネットワーク会議で茨城県阿見町消防団の実演を見て共感し、協力をお願いしてオリジナルを作成し、幼児防火教室で行っている『止まって・倒れて・転がって』のお話しもあり、直接話を聞けて感激しました。

グループ毎の課題討議では、他市町の女性消防団の活動を聞き、自分達の活動との違いや共通点等を知る事ができました。

課題討議で出した答には、まだまだ遠い位置にあります。少しでも近づけるよう、一步一步着実に歩みを進めていきたいと思っています。



にかほ市消防団
団員
新田 まゆみ

この研修に参加し、全国の女性消防団員の方とお会いして、いろいろな活動やこれからの目標について意

見交換をしました。

今、にかほ市女性消防団は、幼児防火教室に取り組んでおり、これから新たに地震や津波などの災害に関する教室を行うおうちとしています。

今回の研修では、特に在日アメリカ海軍指令部地域総合消防隊予防課長長谷川祐子さんの講話が大変参考になりました。

アメリカの家庭では、幼児期の子供から「自分の身は自分で守れ」と教えているそうです。私も小学校五年生、六年生と消防クラブに入っていました。その時に教えて頂いたことは今になっても覚えていて自然と体が動く事があります。これからは、地震や津波、サバイバルキットについてもStop, Drop And Roll同様、子供達に伝えていきたいと思っています。



大仙市消防団
団員
浅原道子

三日間の研修に参加して、色々なお話を聞くことができました。

私の消防団はまだ立ち上げて一年、どんな活動をするのか、どういう活動ができるのか模索状態でしたが、女性消防団は特別職の公務員でボランティアではない。自信を持って消防団員ですと言えるためにも、確かな知識と色々な技術力を身につけることが必要だと講師の先生方からお

話され、活動する前にたくさん勉強することがあるなと思いました。

全国から来た女性消防団員の方たちのお話もこれからの参考になりました。そして色々な県の友達もたくさんでき、ネットワークが広がりました。たくさんさんの得たものを団へ持ち帰り、みんなでこれからの活動を考えていきたいと思っています。



大仙市消防団
団員
一色順子

この研修でこれから女性消防団員としてどのような活動をしたら良いのか、少しでも多くの情報を持ち帰ろうと講義を聴き、また、参加者同士で各地域の情報交換をしました。

講義の内容は興味深い事ばかりで、中でも、日本消防協会秋本理事長の講話で、「世界各国では、男女差ではなく個人差で活動内容を変えているが、男女差を付けているのは日本だけ」と聞き、女性だけでは活動に不安要素が多いと考えていた私は、男性団員と女性団員と協力し合い、一人ひとりの得意分野を活かして活動をすれば効率も良くなるのではないかと思います。

そのため、自分の得意分野の資格を取得して専門性を持ち幅広い対応ができる女性消防団員を目指していけるように努力してまいります。

平成二三年度消防団長等幹部
海外消防事情調査団に参加して



鹿角市消防団
団長
黒澤文男

今回は、デンマーク、ロシア、オランダの三方国を訪問しました。どの国の消防関係者からも大歓迎を受け、それぞれの国の消防システムや訓練の様子などを研修してきましたが、特に印象に残っているデンマークとロシアの消防事情についてご報告します。

デンマークでは、消防業務を請け負っている民間のファルク社を視察しましたが、自前で消防署を持っており、国内の自治体の約七〇%から請け負っているとのことでした。自治体にとつてはかなりの経費が抑えられているようです。

ロシアのサンクトペテルブルグ消防大学校では、学生達から直接話を聞きました。彼らがエリート集団であること、銃を持つての整列訓練など消防活動が即、国を守ることに繋がっていることを感じました。

三方国とも日本の消防団とは違いはあるものの、地域を守る意気込みは国が変わっても同じものがあると感じてきました。

第三八回消防団幹部
特別研修に参加して



鹿角市消防団
副団長
黒澤一夫

消防団幹部特別研修は平成二四年一月一七日から二〇日の四日間、日本消防会館で開催されました。

この研修の目的は、「消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、上級幹部に対し各種研修を行い、消防団の指導者を養成するものである」とあり、一言一句も漏らさずの思いで受講してまいりました。

研修は、秋本理事長の講話や武山気仙沼市消防団長の事例発表、課題研究討議、消防庁危機管理センターでの講義等で構成されており、課題研究討議では、私は「地域のニーズに応える新たな消防団活動の展開」をテーマに研修してきました。

多くの参加者との意見交換では、多くの分団で「団員の確保が思うようにできない」「災害時出動できる団員が少ない」等悩んでいる事項は共通していると感じました。

この研修で得たことを今後の消防団活動に活かし、安全で安心して暮らせるまちづくり、市民から愛される消防団づくりに一層取り組むことを心に決め、帰路へとつきました。

財団法人 秋田県消防協会

公益財団法人に移行

平成24年4月1日

財団法人秋田県消防協会では、秋田県に対し、平成23年9月14日付けで公益財団法人への移行認定の申請を行っていたところ、平成24年3月21日付けで認定されました。

この認定を受け、4月1日に新法人の登記を行い、公益財団法人秋田県消防協会が正式に発足することとなりました。

今後とも、ご指導、ご支援をお願い致します。

■新法人の名称

公益財団法人 秋田県消防協会

■新法人の目的

この法人は、消防思想の普及、消防知識技能の向上、消防諸施設の改善、消防活動の強化を図るとともに消防人の福利厚生の実を推進し、もって社会の災厄を防止し、人類共同の福祉の増進に資することを目的とする。

■公益目的事業

- ・防火防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図るため、火災予防運動の推進等を行う事業
- ・地域の消防防災力の向上を図るため、消防団員の研修や消防操法大会の開催等を行う事業

■収益事業等

- ・消防職員・消防団員等のために行う表彰や福祉共済等に関する事業
- ・会員のために行う消防互助会事業

■新法人の理事、監事及び評議員の任期

理 事：2年間

平成24年4月1日から平成26年度定時評議員会の終結の時まで

監 事：2年間

平成23年5月24日から平成25年度定時評議員会の終結の時まで

評議員：4年間

平成24年4月1日から平成28年度定時評議員会の終結の時まで

=公益財団法人 秋田県消防協会 役員名簿=

理 事 (14名)			
会 長	中泉松之助		
副 会 長	中田 潤 草 彌 忠誠	畠山 勉	
理 事	佐藤 昇 稲葉 盛榮 古戸 俊行 佐藤 肇 日沼 一之	黒澤 文男 成田十喜男 近野 宗一 伊藤 和美	
業務執行理事	進藤 鋼司		
監 事 (3名)			
	佐々木善廣	北林 榮	泉 信一
評議員 (28名)			
安部文一郎	成田 俊昭	安部 幸美	
北林 義高	小玉 運市	本多 健	
大石 壽信	高橋 重男	佐藤 金作	
備後 孫忠	周防 彦宗	佐藤 保之	
佐藤 生治	三浦 勝二	佐々木宗助	
佐々木一義	佐藤 金一	佐々木謙吉	
沢田 正	石井 直文	長岐 順一	
天野 正廣	伊藤 繁	伊藤 隆	
伊藤 敬一	阿曾 時秀	泉田 榮次	
伊藤 博志			

森 田 ポ ン プ ラ ビ ッ ト ポ ン プ
 桜ホース・ソフト吸管 消 防 被 服 一 式
 各 種 消 火 器 消 防 機 器 一 式

株式会社 協 立
 株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
 TEL (0185) (52) 6361
 (52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
 猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

湯沢市で
第六五回 秋田県消防大会
開催予定

|| 湯沢市雄勝郡支部 ||

第六五回秋田県消防大会が平成二
四年六月三十日(土)湯沢文化会館に
おいて開催予定です。

お越しいただいた皆様にとって少
しでも心に残るものになるよう、当
支部では大会に向けての準備に奮闘
中であります。
内容について、少しだけご紹介し
ましょう。



郷土芸能の西馬音内盆踊り

アトラクションでは、郷土芸能で
あります西馬音内盆踊りと、仙人太
鼓の披露、講演は女優三咲順子さん
による「防災一人語り」を予定して
おります。



女優 三咲 順子さん

三咲さんは、ライフワークである
一人語りの一環として、平成一七年
から防火・防災をテーマとした防災
一人語りのシリーズを全国各地で上
演しており、今回はその中から「お
にぎりいっぱい愛」を公演いただ
きます。

アパート火災で死亡した五歳の男
の子が、共働きの両親をねぎらって
おにぎりを作って帰宅を待っていた
実話をもとに、家族や消防隊長の思
いを伝える内容になっており、涙な
しには観られないようです。

「一人語りの中に引き込まれるよ
うな感じになりとても良かった」芸
術性が高く心に残ります」など大変
好評です。お楽しみに。

さて、当湯沢雄勝地域は県最南部
に位置する自然と環境に恵まれたと

ところで、全国的にも知られた温泉場
や景観地があります。また稲庭うどん
や蕎麦・さくらんぼなどおいしい
食べ物と美味いお酒が名物です。
是非この機会に、少しでも多くの
方に当地の趣に触れていただければ
と思っておりますので、たくさんの方
々のご来場をお待ちしております。

火災の発生状況
|| 速報値 ||

(秋田県総合防災課調べ)

	平成 24 年		平成 23 年			同期比較	
	3 月	累計	3 月	累計	年計	3 月	累計
建 物	18	54	21	58	210	- 3	- 4
林 野	0	0	0	0	18	0	0
車 輛	2	4	2	5	42	0	- 1
そ の 他	1	6	6	8	53	- 5	- 2
合 計	21	64	29	71	323	- 8	- 7
死 者 数	2	6	4	15	35	- 2	- 9
負 傷 者 数	5	22	3	16	56	2	6

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シパウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp